

週刊 タバコの正体

近年、タバコの煙やニオイに不快感を持つ人は多くなっています。受動喫煙を防止するためにも大勢の人が集まる場所や建物は禁煙が当たり前になっていますが、食事を楽しむ飲食店はそうとは限りません。



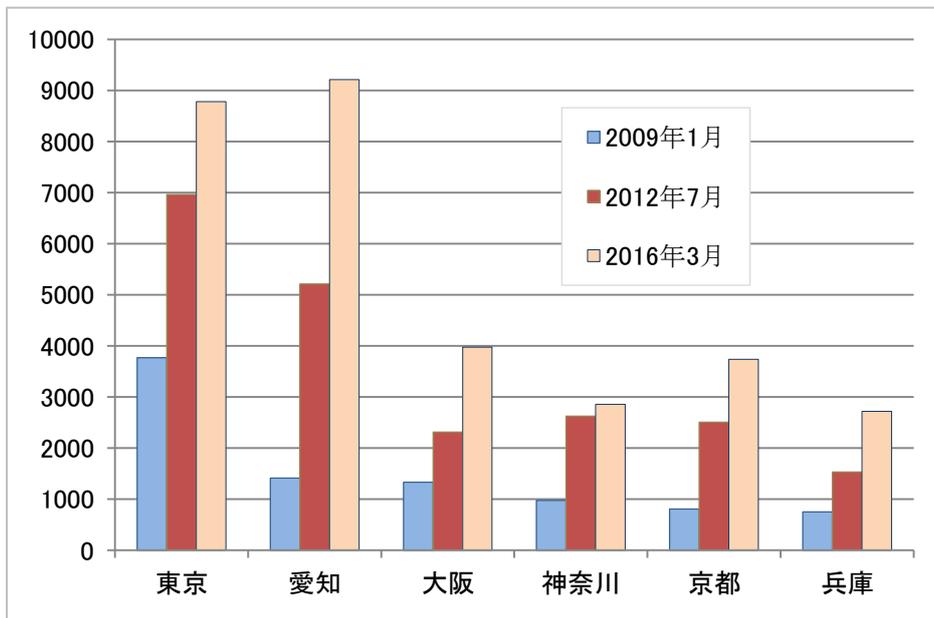
目黒区「タバコ対策」サイトから



東京都福祉保健局「健康ステーション」サイトから

例えば、左上図のような状況のレストランもあるでしょう。おいしい料理を楽しく晴れやかな気分で味わいたいのにも、タバコの煙とニオイが漂っていたのでは、せっかくの食事でも雰囲気も台無しになってしまいませんか。対して、右上図のような禁煙飲食店では小さな子どもを連れた家族でも、有害なタバコ

の煙とニオイを気にせず安心して楽しめますよね。



とすることで、左のグラフを見てください。いくつかの県の禁煙飲食店の数を表していますが、2016年3月現在の東京や愛知では約9000店舗もの禁煙飲食店が存在しています。

このグラフは、キレイな空気のタバコくさくない店で食事を楽しみたい人向けの情報提供サイト「禁煙スタイル」に掲載されているデータから引用しました。ちなみに、全国的にも禁煙飲食店は増加しており、7年前(2009年)約12600店だったのが、現在はその4倍近い約46500店にまでなっています。

その昔、「飲食店でタバコを吸うのは当たり前」という時代がありましたが、だんだんと「飲食店は禁煙が当たり前」になってきています。

その昔、「飲食店でタバコを吸うのは当たり前」という時代がありましたが、だんだんと「飲食店は禁煙が当たり前」になってきています。